

新規採用者からのメッセージ

企画調整室 食料安全保障係

担当業務

食品価格動向調査に関する業務や食料安定供給に係るヒアリングなどを行っています。私は、スーパーなどに普段行かないのでこの業務に携わるまでは食品の価格についての知識がなかったのですが、業務を行うにつれて現在の食品高騰の要因や物価が上がる仕組みなどを知ることができてとてもやりがいがあります。「食」に関する話題は皆さんにとっても身近なものだと思うので、関心をもって働けるとおもいます。

志望動機

生活する上で身近なものである「食」に携われる業務を行えるという点で東海農政局を志望いたしました。また説明会などで業務に関して詳しく説明していただき、職場の雰囲気の良いさを感じたので志望させていただきました。

職場の雰囲気

いつでも上司の方に質問しやすい環境なので、社会人未経験の私でもコツコツと業務を覚えながら働くことができます。また入省前は一つのことを専門的に学んでいく仕事なのかなと思っていましたが、入省後は業務の中で様々な「食」に関することについて学んでいくことができるのでやりがいを持って働くことができます。

メッセージ

公務員試験対策は長時間の勉強や、面接対策など大変なことがたくさんあると思います。公務員試験対策では、もちろん身体的な健康を保つことも大切ですが、自分のメンタルとの闘いでもあると思います。思うように結果が出なかったり、試験日が近づいてきて焦りを感じたりするかもしれませんが、しっかり対策をして自信をもって試験に臨めば大丈夫だと思います。後悔のないように頑張ってください！



消費・安全部 米穀流通・食品表示監視課計画係

担当業務

食品表示の適正化や食料の的確な情報伝達を図るため、関係法令(食品表示法など全7法)に基づいて監視業務を行っています。

志望動機

大学のゼミで過疎地域の農業や農山村の喫緊の課題を肌で感じる機会が多く、自分が育った東海地方の農業に貢献できる東海農政局を志望しました。また、他省庁よりも転勤範囲が狭く、ライフプランを考えやすい点からも魅力を感じました。

職場の雰囲気

同じ新規採用者は課内に3人おり、自分のみが新卒ですが採用初日からすぐに打ち解けて仲良くなりました。上司も全員優しく、困ったことがあるとすぐに助けてくださります。談笑も多く、とても良い雰囲気の職場なので居心地が良いです。

入省後に感じたギャップ

東海三県の色々な地域に立入検査などの理由で出張する機会がかなり多く、事務作業が多いイメージとは異なったため驚きました。外に出る機会が多い仕事を希望していたので良いギャップでした。

メッセージ

今は筆記試験が終了し説明会や官庁訪問面接が徐々に始まっている時期かと思えます。筆記試験本当にお疲れさまでした。面接対策に気持ちを切り替えて、万全な対策をしていくと当日も安心して本番に臨めるとおもいます。同じ国家公務員を目指す仲間をなるべく多く作って情報共有をすることが一番効率よく面接対策することができる秘訣だと思います。あともうひと踏ん張り！応援してます！



新規採用者からのメッセージ

会計課補助金係

担当業務

補助金等の交付決定や額の確定のために、書類の審査を行っています。また、本省との会計関係の窓口として、会計業務全般を担っています。

事業に正確な補助金等が交付されているかをチェックすることは、国のお金が日本の農業に効果的に使われ続けるために必要だと考えているため、やりがいを感じています。



志望動機

農政局を志望したのは、自分たちの食べるものが安心できるものであり、かつ、身近な場所で作られている、という豊かさが広まってほしいと考えたからです。

また、大学は東海地方の外に出ていましたが、地元の良さを自分はあまり知らないことに気づき、東海地方の良さをたくさん感じて役に立ちたいと思い、東海農政局を志望しました。

職場の雰囲気

本当に人に恵まれていると感じます。普段は優しいですが、仕事はお金に関わるということもあり、非常に正確さを大切に、誠実な人に囲まれています。

入省前にイメージしていたよりも、無駄をなくし、仕事のやすさが考えられていると感じました。公務員の仕事環境は変わりにくいと想像していましたが、丁寧かつ効率的な作業が常に目指されていると感じます。



メッセージ

筆記は、特に法律系に関しては、質を量でカバーする必要があります。伸びなさそうな科目の勉強量は周りに合わせる必要はありません。本番で一番点を稼げる科目選択で勉強を続けましょう。

面接は、他の志望とのできることの違いをはっきりさせることが重要だと思います。例えば、事業の支援といっても、民間、県、農政局ではできることが違ってきます。

何よりも伝えたいのは、公務員試験が終わったら、働くまでの間はたくさんを経験してほしいということです。学生でしかできない長期海外旅に出る、研究に打ち込む、アルバイトでたくさん業務を経験する、どんなことも働き始めてからの自信とやる気になります。

農村振興部 設計課総務係

担当業務

農村振興部の総務に関する仕事をしています。他部署や他課と関わる機会が多いので、様々な職員の方と交流しながら業務に取り組んでいます。



志望動機

大学で心理学を専攻し、ゼミナールで主に発達心理学や福祉心理学の分野を研究しました。色々な省庁を調べる中で、農林水産省が農福連携の事業に取り組んでいることを知りました。大学で学んだ知識を活かして農福連携を促進させたいと考え、志望しました。

また、業務説明会に参加させていただいたときに、職員の方々の和やかで優しい雰囲気に惹かれ、一緒に働きたいと思いました。



入省後に感じたギャップ

入省する前は、一人で事務や庶務の仕事を黙々とこなしていくのだと思っていました。しかし、実際には職員と交流することが多く、分からないところがあっても聞きやすい雰囲気でした。上司の方々の手厚いサポートのおかげで、不安を感じることなく働いています。

メッセージ

公務員試験では、説明会や試験の情報などを多く知っていることが重要です。また、公務員試験は民間と比べると時期が遅く、周りとの進捗の差に焦りを感じてしまうかもしれません。そのため、同じく公務員を目指す仲間を見つけ、情報共有したり励ましあったりできるとよいと思います。試験勉強や面接対策で道のりは長いですが、最後まで気を抜かず頑張ってください。応援しています！

新規採用者からのメッセージ

経営・事業支援部 農地政策推進課農地企画係

担当業務

農地政策に関する補助金や調査の取りまとめを担当しています。

志望動機

祖父母が農家で小さいころから農業が身近な存在だったため志望しました。また、自分でご飯を作ったり、おいしいものを食べたりするのが好きで「食」に携われる仕事に魅力を感じたことも決め手の一つになりました。



入省後に感じたギャップ

入省前に想像していた以上に職場の雰囲気がいいです。わからないことがあればすぐに上司が駆けつけ一つひとつ教えてくれて、不安なく働いています。また、休暇の取得も上司のほうから声をかけてくれるので、とてもワークライフバランスのとれた職場だと思います。

メッセージ

面接対策はとにかく早めに手を付け始めることが大事だと思います。志望動機やガクチ力などよく聞かれることは勉強の合間に息抜きがてら考えておくと、面接期に入ってから楽になります。面接に苦手意識を持っている人でも、何度も練習すればある程度喋れるようになるのであまり思いつめず気楽に頑張ってください。



経営・事業支援部 経営支援課女性活躍推進係

担当業務

女性農業者の活躍推進に関する事業を担当しています。

志望動機

食という生活に根付いた分野に関わることができる所や幅広い業務に携わることができる点に魅力を感じ志望いたしました。また、説明会や面接の際職員の方々の雰囲気がとてもよかったことも志望の決め手となりました。

職場の雰囲気

職場の雰囲気は説明会や面接で感じたものとおりで、優しいばかりです。わからないことがあったら周りの上司の方へ聞きやすく、コミュニケーションの取りやすい環境です。働き方についても様々な制度を活用して自分に合った働き方をされています。上司の方々が声をかけてくださり、制度について利用しやすい状況でとても助かっています。私の部署はイベントや取材など外に出向くことが多いため、そこに関しては想像よりもアクティブだなと感じました。

メッセージ

筆記試験、面接と様々な対策が必要だと思いますが、どちらもいいバランスで行うことをおすすめします。合格点ぎりぎりというのはあまりよくないことではあるのですが、逆を言えばどんな点数であろうと合格という事実には変わりはありません。なので、筆記試験（もしくは面接）ばかり対策して100点満点を目指すのではなく、両方いいバランスで必ず合格できるラインを目指して頑張ってください！皆さんと東海農政局でお会いできることを楽しみにしております！



農村振興部 都市農村交流課地域活性化係

担当業務

交付金に関わる事務や、イベントの開催、事業の表彰に関わる業務を行っております。

志望動機

大学で栄養学を専攻していたことと前職での経験を生かせる仕事に携わりたいと考えておりました。そのような中、東海農政局の説明会や座談会に参加し、業務内容に魅力を感じたことから、志望いたしました。

職場の雰囲気

質問や相談がしやすい雰囲気があり、困っている際には周囲の方がサポートして下さる環境だと感じました。また、働いている方々がまじめで勤勉な方が多く、その中で自分自身も努力していきたいと思える点に加え、休暇も取得しやすい環境であることから、入省して良かったと感じております。

メッセージ

筆記試験については、過去問を繰り返し解くことが重要だと思います。また、受験科目が多いため、完璧を目指しすぎず、幅広く学習していく方が効率的だと感じました。

面接では、過度に緊張せず、自分の良さを伝えられるようリラックスして臨むことが大切だと思います。とはいえ緊張はすると思うので、さまざまな方に面接練習を見ていただき、繰り返し練習することで、「これだけ準備したから大丈夫」と自信を持てるようになると思います。皆様の就職活動が良い結果になることを願っております。



新規採用者からのメッセージ

愛知県拠点 経営所得安定対策窓口

担当業務

農業者への交付金の支払いに関する業務を担当しています。農業について知識0の状態からのスタートでしたが、業務を通じて農業の実態や経営について知る機会も多く新しい学びが得られる仕事だと感じています。

志望動機

農政局に入る前に食品関係の仕事をしていたので引き続き食品に関わる仕事をしたいと思っていました。また、様々な部署を経験できるため、食品、農業、生産者、消費者等多角的な視点を養いながら仕事ができるところが良いところだと感じました。



入省後に感じたギャップ

正直なところ入前の公務員の仕事はルーティンワークが多いイメージでした。ただ、実際は想像と違い、時々によって業務内容も必要な知識も異なっているため、日々業務への理解を深めようと努めています。業務についてはマニュアル等もありますし、わからないところがあれば周囲の方が教えてくださるので安心して働ける環境だと思います。

メッセージ

(大学生の方へ) 筆記試験の対策も重要ですが、アルバイト、サークル、ゼミ等で様々なコミュニティに所属して色々な経験をされることで知見が広がっていくと思います。そういった経験が企業や官公庁への興味や自身の強み等に気付くきっかけに繋がっていきます。

(公務員への転職を考えている方へ) これまでに仕事を体験して得たものは必ず官公庁でも活きると思います。筆記試験を受ける場合、勉強時間をどう作るかが重要になってくると思いますので計画的に準備して試験、面接に臨んで下さい。



農村振興行政系 農村振興部用地課用地係

担当業務

用地課では、公共事業を進めるために必要となる用地(土地)の取得や借受け、またそれに伴って支障となる建物等の移転や損失補償に関する業務を担当しています。あわせて、用地取得や補償を適正に行うために必要な調査や資料作成なども行っています。

土地や権利に関する調整は非常に繊細で難しい場面も多いですが、地権者の方々一人ひとりと丁寧に向き合い、納得していただいた上で事業が進んだときには、大きな達成感を感じます。自分の関わった仕事が、地域の農業基盤整備や暮らしの安全につながっていくことを実感できる点に、この業務のやりがいがあります。

志望動機

父方の祖父母が地元で梨農園を営んでおり、幼い頃から農業がとても身近な存在でした。祖父母からは、農地を含む土地の扱いや権利調整の難しさについて話を聞くことも多く、農業は自然だけでなく「土地」や「制度」と深く関わっていることを実感してきました。そうした経験から、土地の適正な利用や円滑な用地調整を通じて地域農業を支える用地課の業務に強い関心を持ち、東海農政局を志望しました。



職場の雰囲気

職場の雰囲気は明るく、とても楽しいです。入省前は「行政の職場=堅い、静か」というイメージを持っていましたが、実際には雑談を交えながら業務を進める場面も多く、想像以上に風通しの良い職場でした。そのため、入省後もすぐに職場や人に慣れることができました。分からないことがあれば年次に関係なく気軽に質問でき、先輩方も一つひとつ丁寧に教えてくださるので、安心して業務に取り組んでいます。

メッセージ

公務員試験では筆記試験ももちろん大切ですが、自分の就職活動を振り返ると面接対策と、それにつながる情報収集がより大切だと思います。面接対策については、面接で過去にどういった質問がされたのかを調べ、大学や予備校などで面接練習を何度も行い、面接に慣れていくことが大切だと思います。情報収集はインターネットでもできますが、いちばんは業務説明会に積極的に参加して、実際に働いている方の話を聞き、その中で質問する機会が設けられていた時は積極的に質問することが大事です。また、就職活動中は、さまざまな官庁の業務説明会に参加する中で、「自分に向いている仕事は何か」「本当にここでいいのか」と悩むことも多いと思います。私自身も同じように迷いながら就職活動をしていました。大切なのは、自分の中で完璧な答えを出そうとせず、少しでも「面白そう」「関わってみたい」と感じた気持ちを大事にすることだと思います。東海農政局には、農業や食を通じて地域と真剣に向き合える環境があります。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



若手職員からのメッセージ

会計課支出負担行為係

担当業務

会計課の庶務及び経理を担当しています。



志望動機

すべての人にとって欠かせない「食」を支える業務に携わりたいと思ったからです。また、説明会等で職員の方の話を聞いたり、実際に職場を見学したりした際に、雰囲気の良いと感じたことも決め手です。



職場の雰囲気

入省前の想像どおり、職場の雰囲気はとてもよいです。分からないことは先輩職員に聞けばすぐ答えてくれますし、業務についてのアドバイスももらえるので、不安を抱えず働いています。

メッセージ

面接においては、話す内容も大切ですが、面接官と会話のラリーができることも大切です。そのために、何度も面接練習をして慣れるとよいと思います。また、試験対策が終盤になってくると、一人で詰め込む時間が多くなると思います。その中でも、適度にリフレッシュする時間を取ったり、友達や家族と話す時間を取ったりすることが大切です。無理はしすぎず頑張ってください！

会計課事業経理調整係

担当業務

主に契約にかかわる業務を担当しています。具体的には、開札、落札決定、契約、支払、Webサイトの更新、契約関係情報の入力等を行っています。工事現場に直接関わるわけではないものの、契約という重要な業務を担っているため、責任感とやりがいを感じています。



志望動機

祖父母が農家を経営していることもあり、農業を身近に感じていたため、農政局を志望しました。また、生活の基礎となるものを作っていきたいという思いもありました。加えて、説明会等に参加した際に、農政局は残業削減や年休・育休の取得等に力を入れて取り組んでいると知り、働きやすい職場なのだと感じたことも入省への思いを強めました。

職場の雰囲気

私の所属している会計課の事業経理班は、上司の方々がとても優しく、質問にも丁寧に答えてくれるため、安心して業務を行うことができます。業務の合間にする雑談の中で、日常の出来事等についても話せることは、入省前と比較して感じたギャップです。

メッセージ

筆記試験は完璧主義にならないように気を付けてください。ある科目や範囲を捨てるのが、合格への道につながる可能性もあります。面接試験はとにかく笑顔を大事にして、面接官の反応を見ながら喋ることを意識してみてください。就活が終われば、思う存分やりたいことができます。辛いことのほうが多いかと思いますが、頑張ってください。皆さんの就活がうまくいくことを願っています。



若手職員からのメッセージ

消費・安全部 消費生活課食育推進係

担当業務

食育推進の仕事をしています。東海食育メールマガジンや食育に関するポスターの作成、食育イベントの計画・運営などに取り組んでいます。



志望動機

私たちが生きていくうえで欠かせない「食」という分野から、国民の生活を支えられる点に魅力を感じました。また、説明会や座談会に参加し、穏やかで優しい人が多いという印象を受けたため志望しました。



職場の雰囲気

分からないことがあっても、上司の方が優しく教えてくれます。周りの人とコミュニケーションをとりながら業務を進めているため、非常に賑やかです。1年目からスケールの大きな仕事を任されることもあり、成長できる環境だと思います。



メッセージ

筆記試験の対策はもちろんのこと、面接試験の配点も高いため、きちんと対策しておくことが望ましいと思います。私はとにかく面接が苦手なため、想定質問を50個ほど考えて、すべて答えられるようにしました。

終わりが見えず心が折れそうなときは、公務員志望の仲間と情報共有をしたり、自分なりの息抜き方法を実践したりし、気持ちを切り替えて乗り越えました。就活は辛いことも多いと思いますが、悔いのないよう、最後まで諦めず頑張ってください。

消費・安全部 畜水産安全管理課畜水産安全係

担当業務

家畜衛生のための消費・安全交付金に関わる業務や、家畜伝染病予防に関する業務を行っています。

志望動機

気候変動による生産量の変動や、生産コストの増加など、食に関する問題を知り、生活に欠かせない食を支えられるような仕事に携わりたいと思ったため志望しました。また、座談会や相談会に参加した際に、先輩方の和やかな雰囲気に着かれたことも決め手になりました。



職場の雰囲気

気さくな方が多く、周りの先輩方とコミュニケーションを取りやすい環境だと思います。上司の方々も優しく仕事を教えてくださるので、不安なく業務に取り組むことができます。



メッセージ

筆記試験や面接が続き、大変な時期だと思いますが、体調に気を付けて、後悔のないよう頑張ってください。就活後はたくさん時間があると思うので、海外旅行など今しかできないことを楽しんでください。

本省勤務経験職員からのメッセージ

総務課人事第1係

職歴

- R2.4.1 東海農政局総務課
- R3.4.1 東海農政局矢作川総合第二期農地防災事業所庶務課
- R4.4.1 大臣官房秘書課共済給付班
- R6.4.1 東海農政局新濃尾農地防災事業所庶務課
- R8.4.1 現職



本省での担当業務

医療費が高額になっている方に対し、法律で定められた限度額まで自己負担額を下げるための支払いの手続きや病気で働けない人に給付する傷病手当金、育休を取得している人に給付する育児休業手当金等、短期給付に関する業務に携わりました。

本省勤務で印象に残っていること

仕事の規模感について印象に残っています。東海農政局に勤務していたときは岐阜県、愛知県、三重県の3県が管轄でしたが、本省に勤務してからは、担当はあるものの、班で全国にある所属所と調整を行いました。

東海3県との関わりから全国の関わりになったことを考えると、改めてスケールが大きいと感じました。また、局で勤務していた頃と比べ、人が多いことはもちろんですが、若い人が多いことも印象的です。



メッセージ

自分の就活を振り返ると、やりたいことが定まらず、悩んでいたことを思い出します。その時に心がけていたのは、とにかく説明会に足を運ぶことです。説明会を通じて、農林水産省は農業分野以外にも多方面から日本の食料・農林水産業を支えていることを知り、また職場の雰囲気や人の良さを感じることができました。皆さまも、まずはぜひ説明会に来てみてください！

本省勤務職員からのメッセージ

大臣官房予算課主計班支出審査第1係

職歴

- R5.4.1 東海農政局総務課
- R7.4.1 大臣官房予算課会計指導班
- R7.12.1 現職



担当業務

農林水産本省の一般会計の支払事務を担当しております。特に4月の出納整理期間は膨大な支払書類が回ってくるため、支払漏れや支払遅延がおこらないように、業務に取り組んでいます。

各局・各課関係者と連携し、正確かつ迅速な事務処理を心がけています。

本省勤務になってからの変化、印象に残っていること

入省前や、地方局で働いているときは、本省は仕事量もスピード感も早く、仕事についていけるか心配でしたが、実際に本省で勤務してからは、地方局と同様に、上司に相談しやすく、働きやすい職場だなという印象を受けています。

また、若い人が多いのも本省ならではの印象です。

学生のうちにやっておくべきこと

学生時代は思いきり遊ぶとよいと思います。社会人になってからも休暇をとって遊ぶことはできますが、学生時代の夏休みや春休みといった長期休暇は貴重です。長期休暇だからこそできることも多いため、好きなことをして思い出をたくさん作ってください。そこでの経験がきっと社会人になってからも生きてくると思います！

メッセージ

就活中、自分が何をしたいのか分からず悩むこともあると思います。そんな時は、さまざまな説明会に参加してみたいと思います。働いている人の雰囲気が組織によって異なるため、たくさん説明会に参加して、自分にあう職場を見つけてください！就活中は、辛いこともあるかと思いますが、納得いく道へ進めるよう最後まで頑張ってください！